

高橋 二郎著

啓蒙日本雜誌

全

特31

416

館
函
架
號

大木軟會書館			
室	三	第	
冊	号	架	函

書本

022446-000-6

特31-416

啓蒙日本雜誌

高橋 二郎/著

M7

ADB-0102



高橋二郎著

挿画

啟蒙日本雜誌

官許

墨山書屋藏版

緒言

明治庚午冬余舊藩ノ命ヲ以テ大學ニ入り洋書ヲ研究スルヤ佛國クレルモトク府人ハンリードリブロール君余ニ洋文ヲ以テ日本地誌并ニ地圖ヲシルサントテ請ヘリ余日本地誌ノ備ハラズノ西人ノ國事ヲ誤解スルトテ憂フルヤ久シク乃チ拮据數月一書ヲアラハシ地理人民政事等ノ要ヲノベ且ツ一大圖ヲ製シ先ツ我が天皇陛下ノ勅覽ニ供シ而テ後之ヲリブロール君ニ

與へテ余が製圖ノ趣意ヲツゲ之ヲ歐羅巴ノ地
學家ニ傳ヘンコトヲ託シタリ癸酉夏病ヲ以テ
官ヲ罷メ南總ニアルヤ嘗テソノ旧稿ヲ抄譯シ
此一小冊ヲナセリ体裁モト地誌トイヘトモソ
ノ人民政事等ニ及ブラ以テ命ノ啓蒙日本雜誌
ト云頃者郷友鶴臯森君愍愍シテ梓ニ上センコ
トヲ請フ乃チ官ニ請テ以テ世ニ公ニス是レ固
ヨリ全豹ノ一斑ニスキズトイヘドモ小學ノ士
之ニ由テ畧本國ノ何物タルヲ理會スル所アラ

バ余が宿昔ノ志願ナリ

明治七年十二月

上總久留里 高橋二郎 識

凡例

- 一書中載スル所官制縣治軍管學區ノ類時トシテ發置アリ閱者新ヲ以テ舊ヲ議スルナカレ
- 一西長門ヨリ東北陸奥ニ至ルマテノ地本部或ハ本洲ト云ソノ名未ダ定マラズトイヘ一
- 個ノ大島ナレバ今姑ク西方地志ニ從ガヒ日本島ト云
- 一此書固ヨリ啓蒙ヲ以テ名トス散テ大方ノ觀ニ供スルニ非ラス故ヲ以テ文辭淺陋体裁亦

猥雜ヲ免レヌ唯其謬ノ如キハ識者ノ忠告ヲ待ツ

明治七年第十二月

撰者 識

目次

地理	疆域	鳴嶼	山岳	河湖	岬角
	海峽	海灣	地氣	物産	區分
	三府	縣治	港邑	驛路	鏡道
	電信				
人民	人種	民情	風俗	民族	
政事	官制	軍備	文學	教門	交際
	沿革				

附錄

樺太

琉球

無人島

目次終

啓蒙日本雜誌

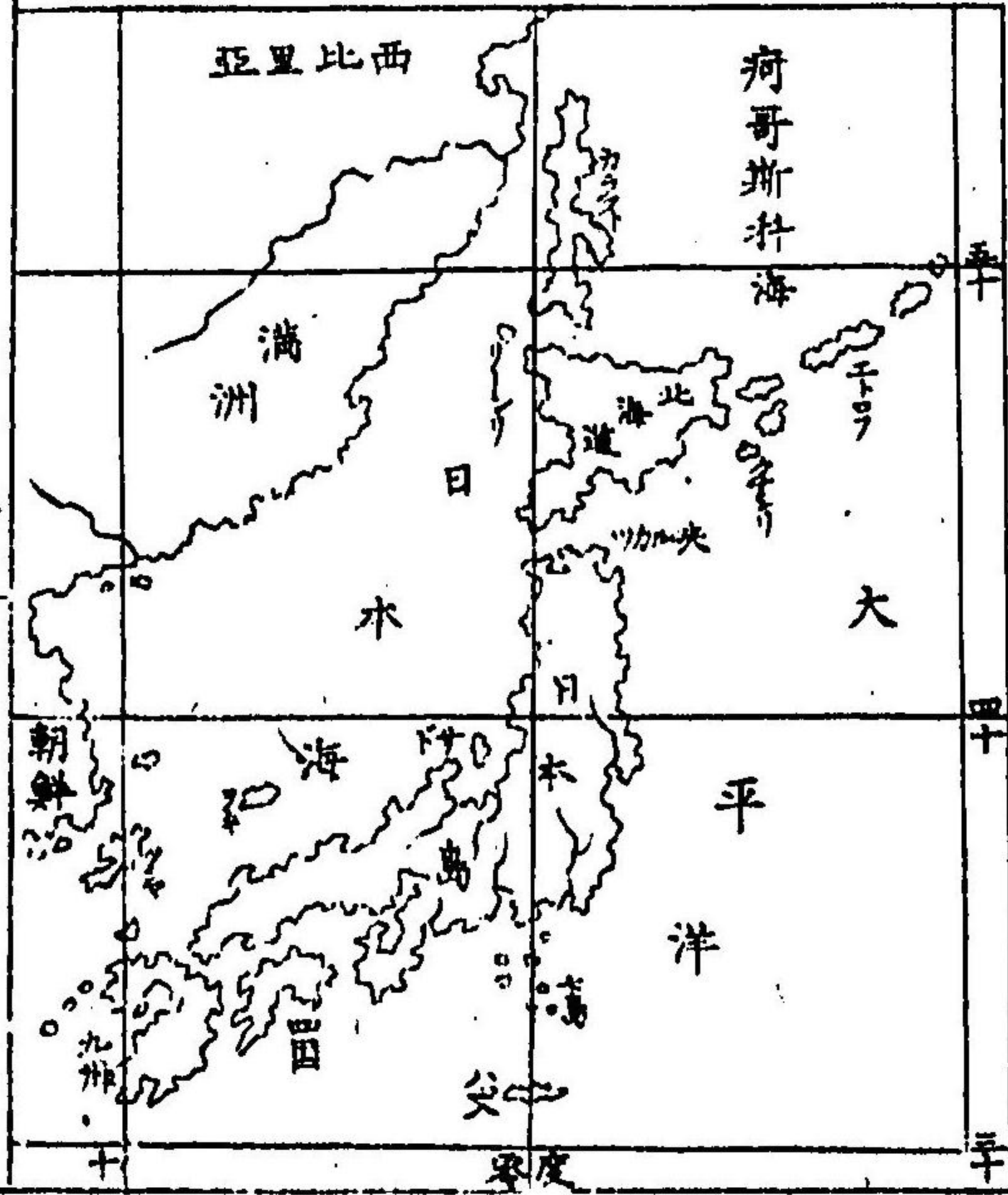
地理

第一

疆域

高橋二郎 著

日本ハ亞細亞ノ東ニ在リ北緯卅一度ヨリ起リ
 四十五度ニ至リテ止ミ
 經線東九度ニ至リ西十
 一度ニ至リテ止其地東
 南太平洋ニ至リ西北高麗
 麗海日本海ニ接シ高麗



峽ヲ隔テ、朝鮮ニ界ス北疇哥斯科海ニ至リ尼
哥勞峽ヲ隔テ、魯領滿洲ニ界セリ、

第二

嶋嶼

嶋嶼大ナル者四坐アリ中央ヲ日本島ト云北ヲ
北海道ト云又蝦夷ト稱ス西ヲ九州ト云南ヲ四
國ト云四島ノ外小島羅列凡ソ四千餘坐アリ禮
文利尻佐渡隱岐壹岐對馬ハ共ニ日本海ニ在リ
平戸五島天草長嶋甌島硫黃島ハ高麗海ニ在リ
壘丹七島八丈無人ノ群島ハ大平洋ニアリ淡路

小豆音頭宮嶋大島長島ハ皆内海ニ在リ國校擇
捉ハ大平洋疇哥斯科海ノ間ニアリ多祿夜久鬼
界永良部與論大島德島琉球諸島ハ高麗海大平
洋ノ間ニアリ是レソノ稍大ヒナル者ナリ

第三

山岳

日本ハ山島ニ據テ國ヲナス各島中央皆至高ノ
連山アリテ峯巒重疊シテ山脈四周セリ全國ノ
地山岳ソノ三ニ居リ平地ソノ一ニ居ル國內ノ
高山不二山ハ駿河ニアリ其高サ一千四百十七

丈國內第

一ノ名山

ナリ其他

岩城山奥陸

鳥海山月

山後羽日光山野筑波山常陸御岳信立山越前白山加賀大

峯秋等ハ日本島ニアリ石狩山石十勝岳十勝ハ北

海道ニアリ火山ノ數八九二十餘至アリ其著名

ナル者本島ノ中部ニ淺間岳アリケルヲク噴焰最烈シ不

ニ山亦時トシテ灰石ヲ噴出ス九州南ニ霧島山

アリ西北阿蘇山雲仙岳アリ

第四 河湖

諸島地形狭ク長シ故ニ河湖皆大ヒナラズト

イヘトモコガハ溪間縱横シテ運漕頗ル便ナリ河流稍

長キ者ハ石狩川石狩源石狩國北上川岩手源陸中阿

武隈川水源利根川水源上木曾川水源淀川水源

信濃川水源最上川水源前岩代吉野川水源筑後川

水源肥等ナリ



湖沼ノ著名ナル者ハ
 本島ニ琵琶湖江近
 湖出猪苗代湖代詠訪
 湖濃信印幡沼総下霞浦湖
 常等アリ北海道ニ訓
 路湖訓支忽湖振等ア
 リ榊太島ニ縫江湖辨
 連戸湖等アリ

第五

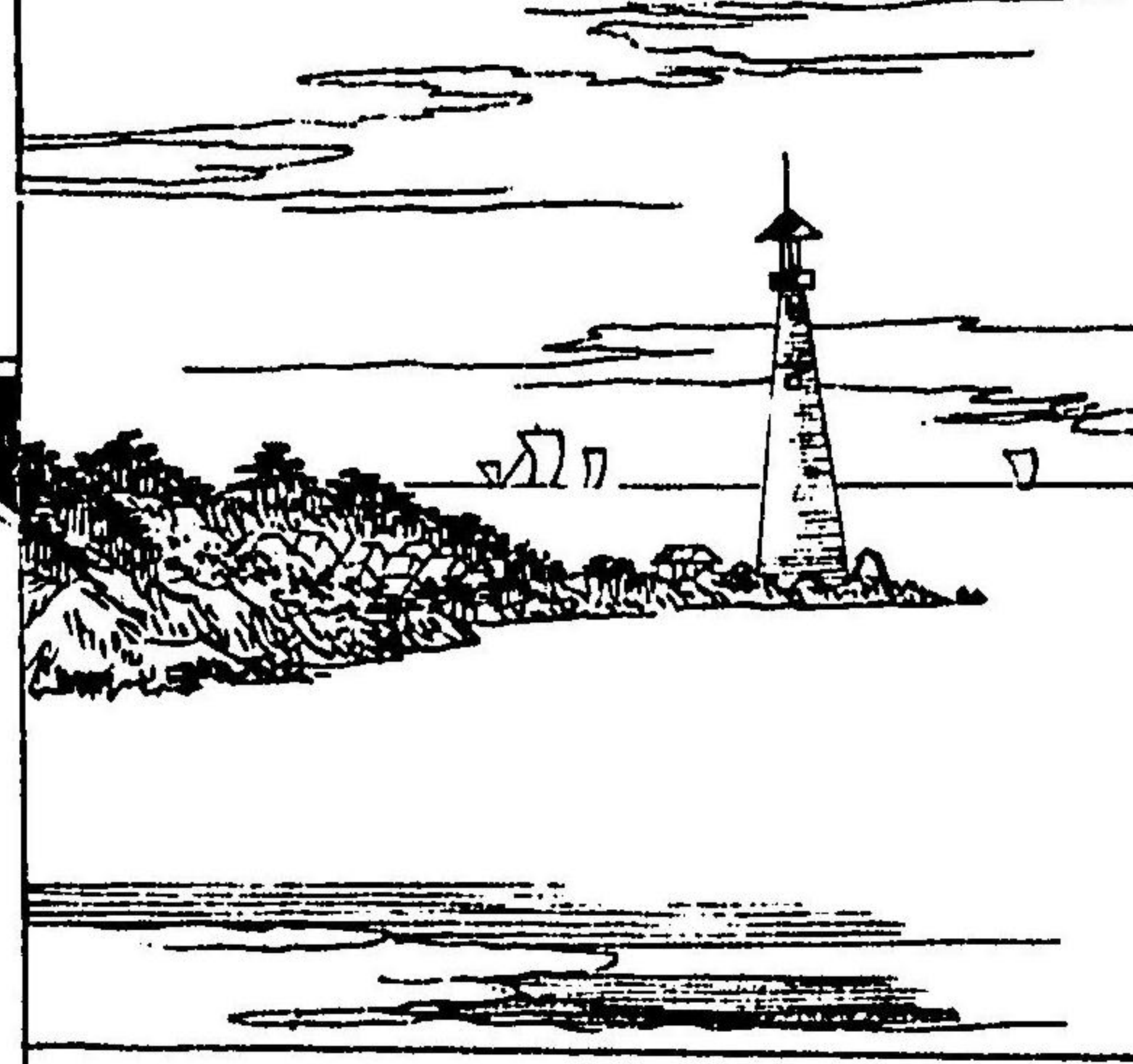
岬角

近江琵琶湖之景



榊太島南ニ知床自主ニ岬アリ宗谷海峡ニ斗出
 セリ東ニ真ノ知床岬アリ荷哥斯科海ニムカフ
 北海道東ニ知常見北納沙布岬報アリ南ニ襟藻向日
 江刺島渡アリ東ニ岡向岬アリ北ニ宗谷岬アリ本

安房野島崎之景



島陸奥ニ矢尻崎アリ陸前
 牡鹿岬アリ下総犬吠崎ア
 リ安房ニ野島崎アリ相摸
 ニ三浦岬アリ志摩ニ大王
 崎アリ紀伊ニ出雲崎アリ

共ニ大東洋ニ面セリ出雲ニ日岬アリ能登ニ珠洲^ヌ崎アリ日本海ニムカヘリ九州南ニ佐多岬アリ^大西ニ野母崎^{肥前}東ニ佐賀崎アリ北ニ鐘崎^{筑前}波戸崎^{肥前}アリ四國ノ南ニ室戸足摺^{ミナト}ニ岬アリ西ニ左田ノ岬アリ

第六 海峡

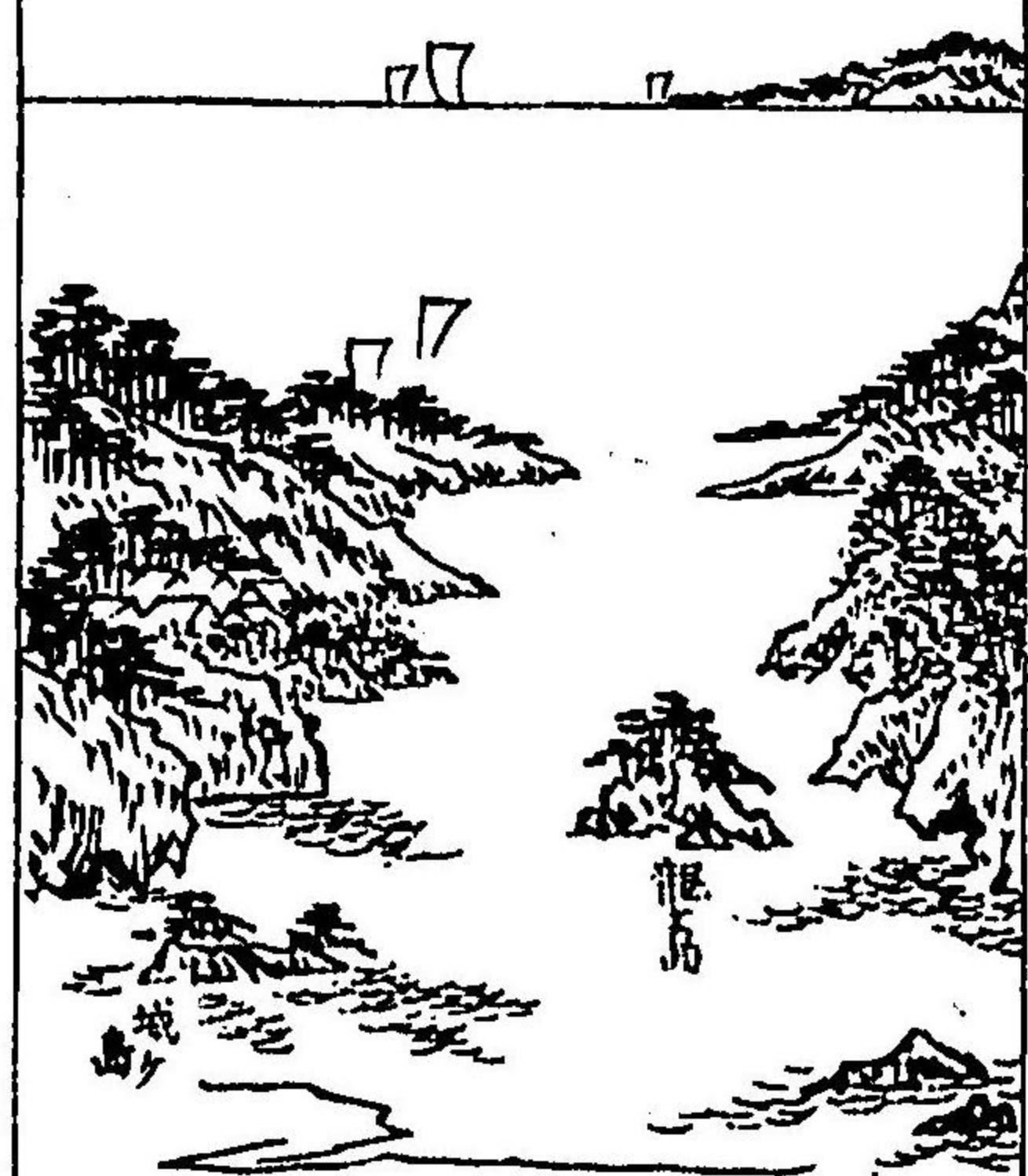
國內ノ海峡宗谷峡ハ北海唐太ノ間ニ在リ日本海^{ツツガシ}哥斯科海ヲ通セリ津輕峡ハ北海日本ノ間ニアリ大平海日本海ヲ界セリ下ノ関峡ハ日本

九州ニ島ノ間ニアリ重要衝ノ地ナリ其他千島根室ノ間ニ野舟峡アリ上総相模ノ間ニ浦賀峡アリ紀伊淡路ノ間ニ苦ヶ島峡アリ播磨淡路ノ間ニ岩屋峡アリ撰津海ト播磨洋ヲ界セリ鳴戸峡ハ阿波淡路ノ間ニアリ海水洶湧シテ渡航最^{ワキカヘル}危シ豊後峡ハ伊豫豊後ノ間ニアリ古早吸門トイヘリジアマ^{フナコシ}ン峡ハ大隅多禰ノ間ニアリ壹岐峡ハ壹岐肥前ノ間ニアリ高麗峡ハ對馬朝鮮ノ間ニアリテ日本海高麗海ヲ通ゼリ

第七 海灣

根室灣 膽振灣 ハ 北海
道ニアリ 松島灣 鹿島
灘 ハ 本島ノ 東岸ニア

浦賀岬之景



リ 東京灣 相模灣 遠州洋 駿河灣 伊勢ノ 海ハ ソノ
南ニアリ 土佐 瀨ノ 四國ノ 南ニアリ 日向 洋ハ 九
州ノ 東南ニアリ 共ニ 大太平洋ニ 通セリ 石狩灣ハ
ト 洋名オス 北海道ノ 西ニアリ 富山灣 若狹灣 石見
瀨 ハ 本島ノ 西北ニアリ 響灘 ハ 九州本島ノ 間ニ

アリ 玄界 洋 松浦 瀨ハ
九州ノ 北ニアリ 日本
海ニ 通ゼリ 天草 洋 火
海 薩摩 瀨 鹿兒島 瀨ハ
九州ノ 西南ニアリ 高
麗海ニ 通ゼリ 内海ハ
本島 山陽 畿内ト 四國
九州ノ 間ニアリ 分テ
四洋ト ナセリ 大阪 瀨

松島灣之景



播広洋ハ東ニアリ備後洋周防洋ハ西ニアリア
ニワ湾パチンセ湾ハ樺太島ノ東南ニアリ疍哥
斯科海ニ通ゼリ諸島ノ海灣スベテ深フシテ廣
ク泊舟頗ル穩ナリ

第八 地氣

日本ノ群島ハ其形偏長ナリ故ニ南北氣候同ジ
カラズ他國ニ比ブレバ寒暑共ニ酷烈ナリ大約
南方ハ温暖冰雪稀ナリ北方ハ寒冷盛夏積雪山
ヲ覆フ北海道ニ至リテハ凜冽殊ニ甚シ三四月

ニ至リ冰雪始メテ消ス毎歲六月霖雨數十日蒙
霧四方ニ塞ル八月九月ノ間颶風一次西南ヨリ
至ル勢極メテ烈シ屋舎ヲ壞リ菓穀ヲ害シ人民
ノ損害ヲナス一少ナカラス

第九 物産

諸島土脈豪腴ニシテ物産頗ル富メリ金、銀、銅、鐵、
鉛、錫、汞、亞鉛、硫黃、磁石、硝石、珊瑚、鐘乳、珠玉、馬腦、琥
珀、水晶、辰沙、陶土、白堊、五穀、百菓、木材、アリ獸類ニ
至テハ熊、鹿、狼、獺、狐、狸、猿、兔、臘、虎、水豹、海狗、膾、膾、膾

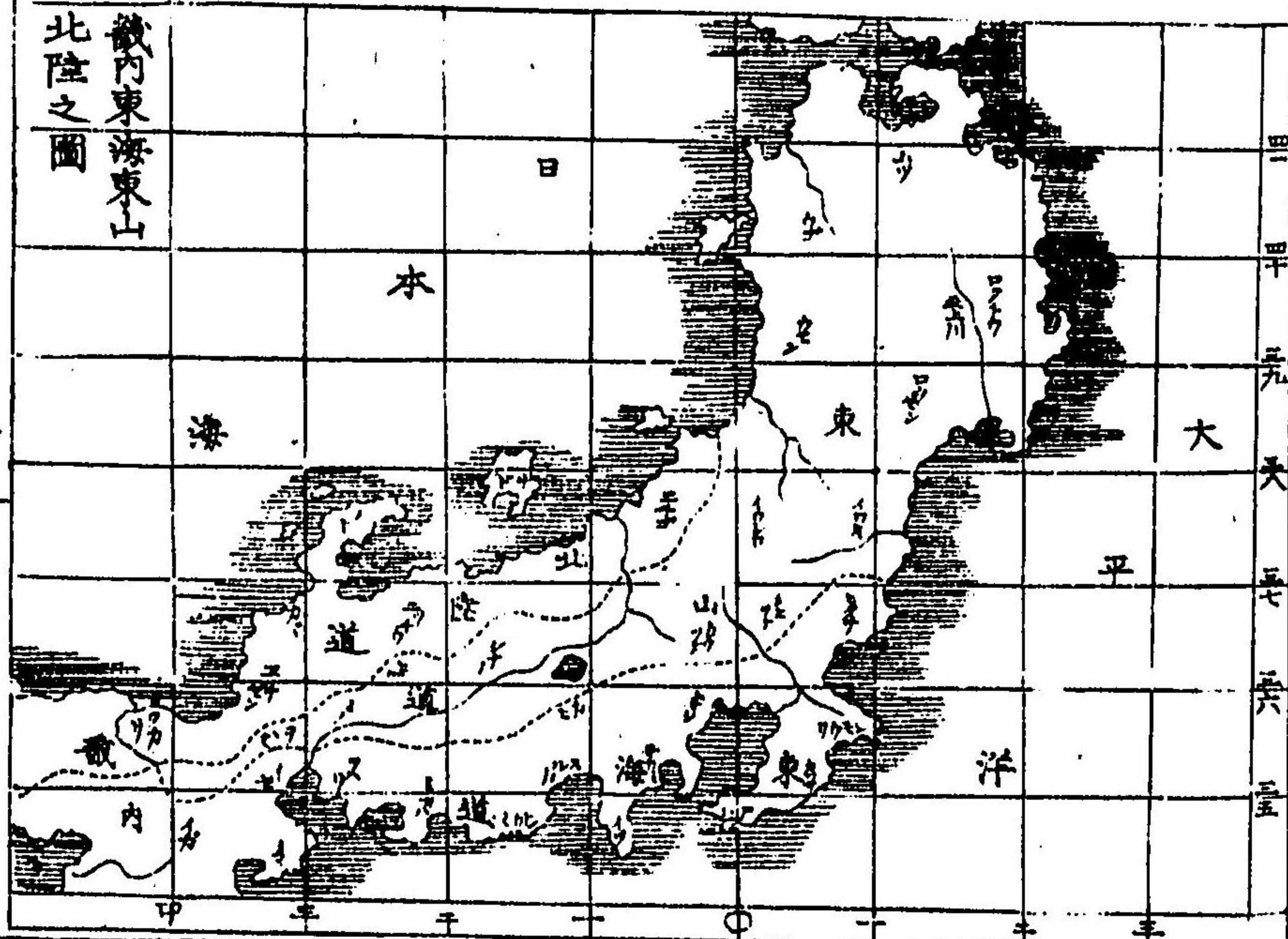
等アリ

第十

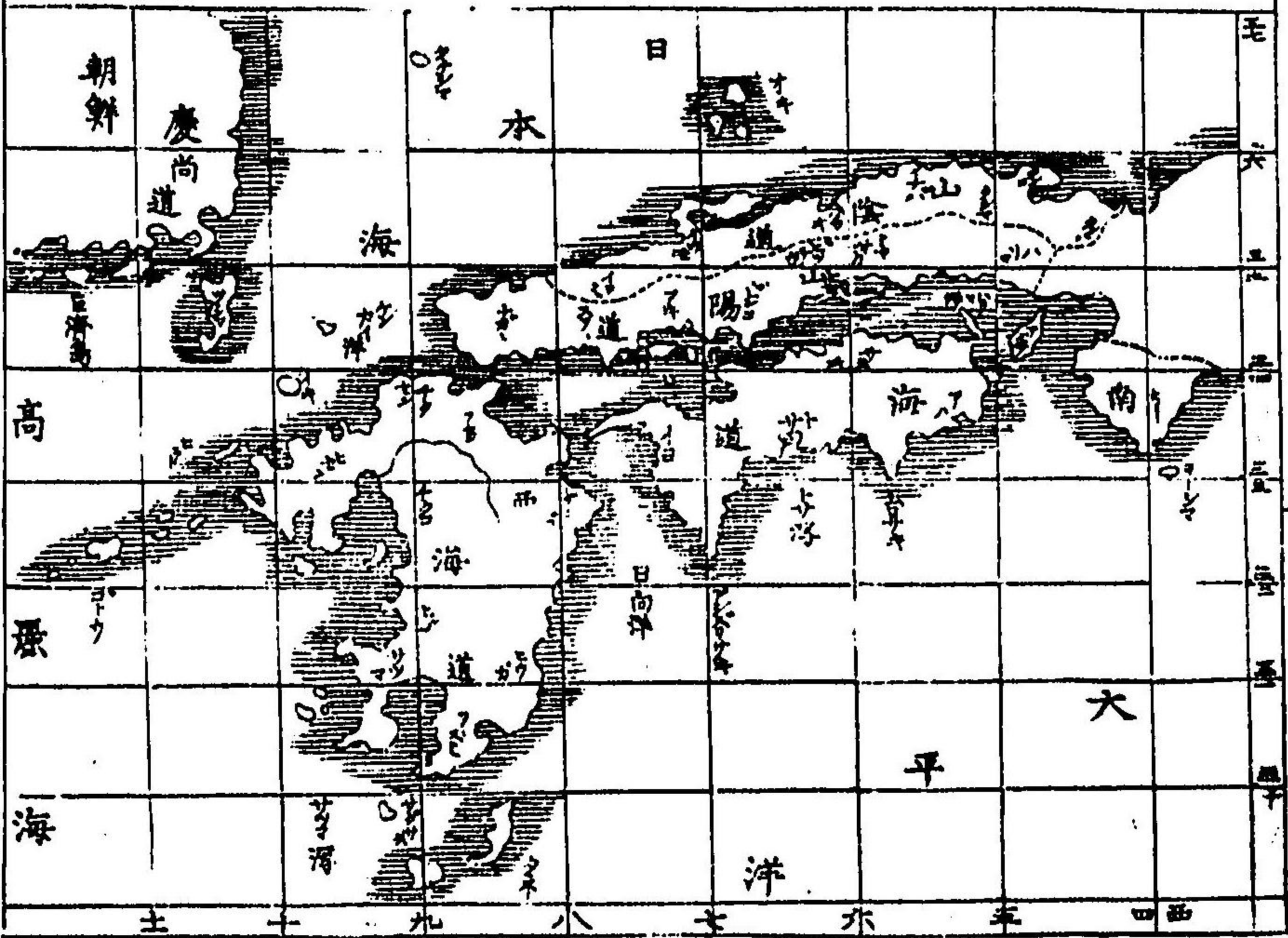
區分

國ヲ分ツテ五畿八道ト
 セリ畿内五國山城大和
 河内和泉摂津東海道十
 五ヶ國伊賀伊勢志摩尾
 張參河遠江駿河甲斐伊
 豆相模武藏安房上總下

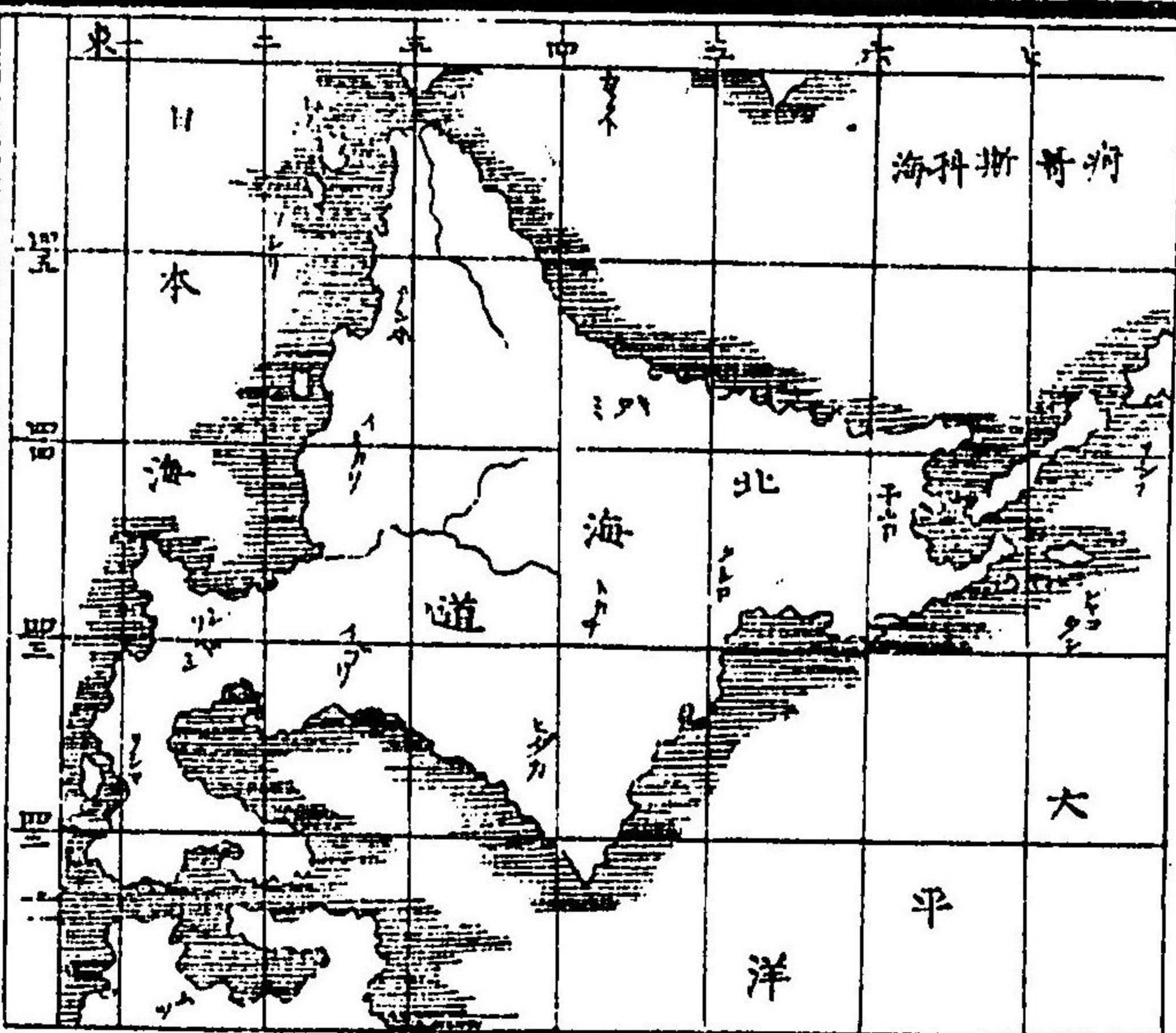
総、常陸、山ヲ負ヒ海ニ
 向ヒ氣候温和土田肥
 沃ニシテ人口繁密ナ
 リ箱根以東ノ八國ハ
 稱シテ関東八州トイ
 フ東山道十三ヶ國近
 江、美濃、飛驒、信濃、上野、
 下野、磐城、岩代、陸前、陸
 中、陸奥、羽前、羽後、地嶮



シクシテ人健カナリ
北陸道七ヶ國若狹、越
前、加賀、能登、越中、越後
佐渡、本島ノ背面ニシ
テ前ニ日本海ヲウケ
地氣寒冽ナリ北海道
十一ヶ國渡島、後志石
狩、天鹽、北見、膽振、日高、
十勝、釧路、根室、千島、居



民稀少ニシテ氣候殊ニ寒シ山陰道八ヶ國丹波、
丹後、但馬、因幡、伯耆、出雲、石見、隱岐、ソノ地勢北陸
ニ似タリ山陽道八ヶ國



播磨、美作、備前、備中、備後、
安藝、周防、長門、國ノ形勢
東海ニ似タリ其民文雅
ヲ尚フ南海道六ヶ國紀
伊、淡路、阿波、讃岐、伊豫、土
佐、時令温暖ニシテ菓穀

豊登^{ヨクミナル}ス西海道九ヶ國筑前筑後豊前豊後肥前肥後日向大隅薩摩地本島ヲ離レ西隅ニ僻在セリソノ民性ハ剛直ナリ二島ハ壹岐對馬ナリ統計八十四國七百十七郡六万三千六百五十九村アリ北海ノ道ゾノ村數

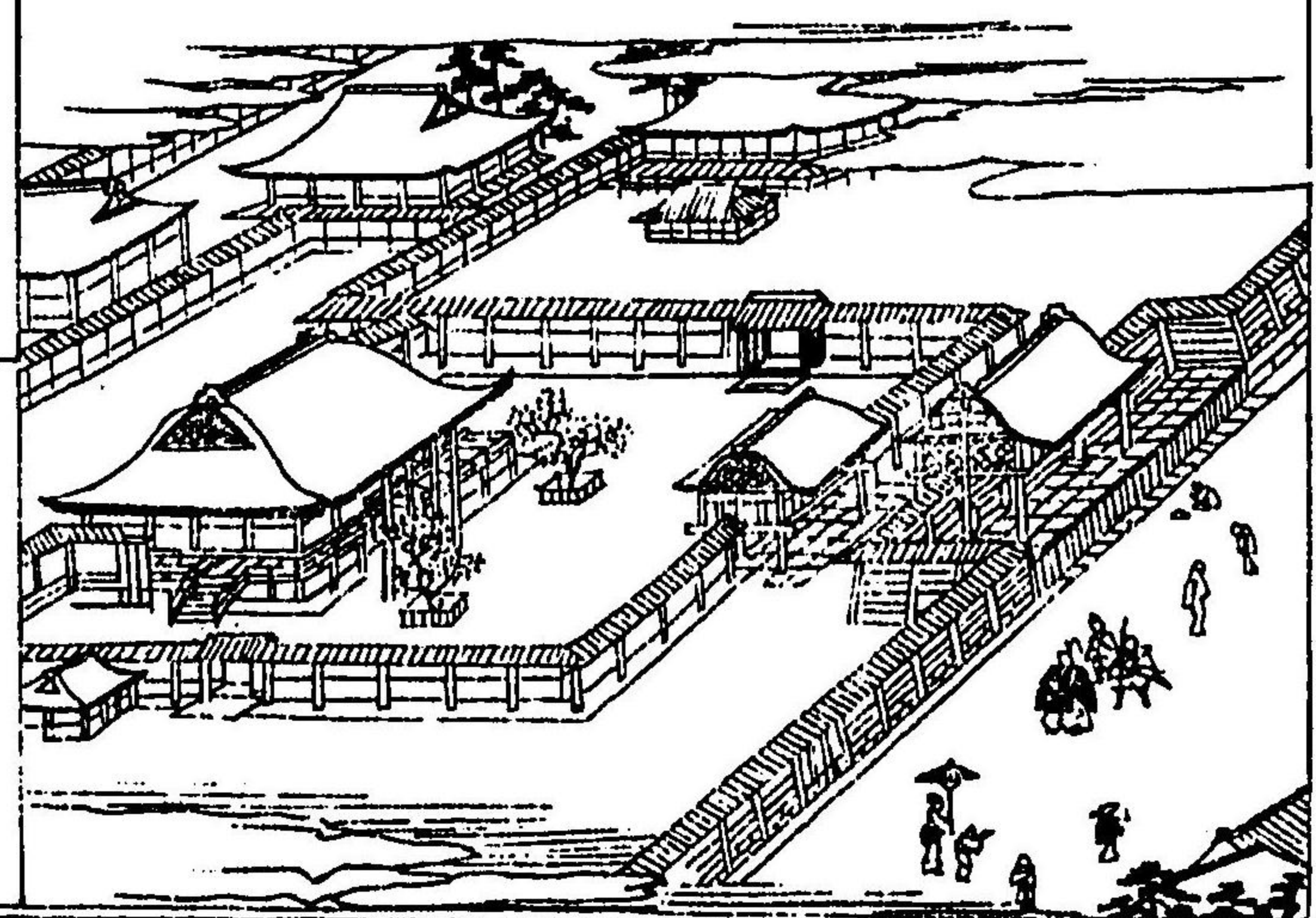
第十一 三府

三府一ヲ東京ト云武藏ニアリ隅田川ノ岸ニ建テ東南海ニノゾミ西北小岡ニ據リ廣遠四里居民凡ソ九十餘万アリ城市宏麗ニシテ人烟湊密

東京銀座町ノ景



京都禁裏ノ景



官署兵營學校祠刹皆鉅麗ナリ日本一ノ都會ニテ皇居ノ在ル所ナリニテ京都ト云山城ニア

大坂城景



リ鴨川ノ岸ニテ帝國
 ノ旧都ナリ市街繁華風
 景秀羨ニシテ平安ノ名
 虚シカラズ民口卅餘万
 アリ三ヲ大坂ト云撰津
 ニ在リ内海ニ臨ミ地勢
 要衝ニシテ城闕巍峩オイオイタ
 リ貿易繁盛ニシテ巨商
 豪買多シ居民凡ソ四十

餘カアリ

第十二

縣治

畿内三縣兵庫、奈良、堺、東海道十三縣茨城、新治、千葉、熊谷、埼玉、神奈川、足柄、山梨、静岡、濱松、愛知、三重、度會、東山道十六縣滋賀、岐阜、筑前、長野、豫水、福島、磐前、若松、宮城、山形、置賜、水澤、酒田、岩手、秋田、青森、北陸道五縣新瀉、敦賀、相川、石川、新川、山陰道四縣豐岡、鳥取、島根、濱田、山陽道六縣飾戶、北条、岡山、小田、廣島、山口、南海道四縣和歌山、名東、愛媛、高智、西

海道九縣福岡、小倉、三潯、佐賀、長崎、大分、白川、宮崎、鹿兒島ナリ北海道ハ開拓使ニ屬シテ縣治ナシ

第十三 港邑

横濱武藏兵庫津新瀉越後ハ本島ニアリ長崎肥前ハ九州ニアリ函館渡ハ北海道ニアリ之レヲ五港ト云内外ノ物貨輻湊シテ貿易マカリ紛繁ナリ名邑ハ本島ニ仙臺離酒田羽水戸陸常津金澤加名古屋躰津勢和歌山隈堺和岡山備廣島藝アリ九州ニ佐賀前福岡龍熊本肥鹿兒島薩アリ四國ニ高智土徳島波

波アリ

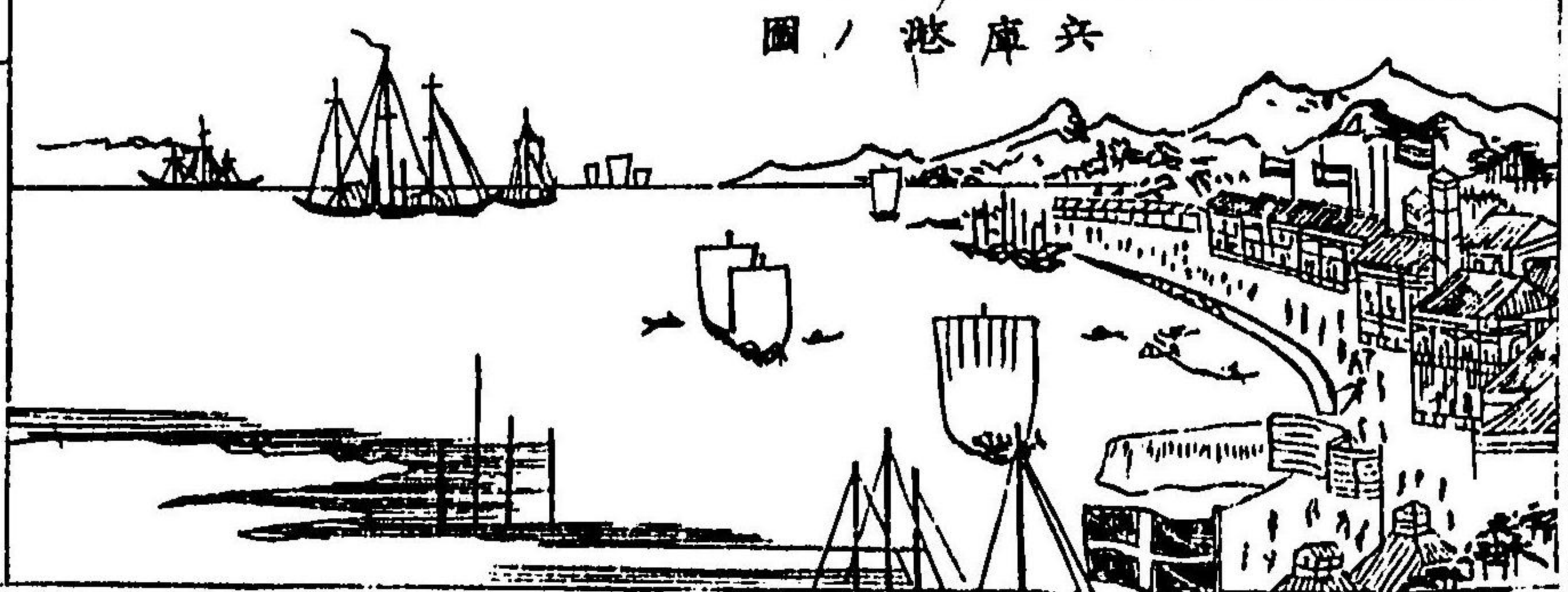
第十四 驛路

東京ヨリ西京ニ至ル二道アリ南ヲ東海道ト云五十餘驛アリ地勢平坦ニシテ路海ニソヘリ北ヲ中山道ト云七十餘驛アリ山路崎嶇トシテ跋涉甚夕

横濱商館繁榮之圖

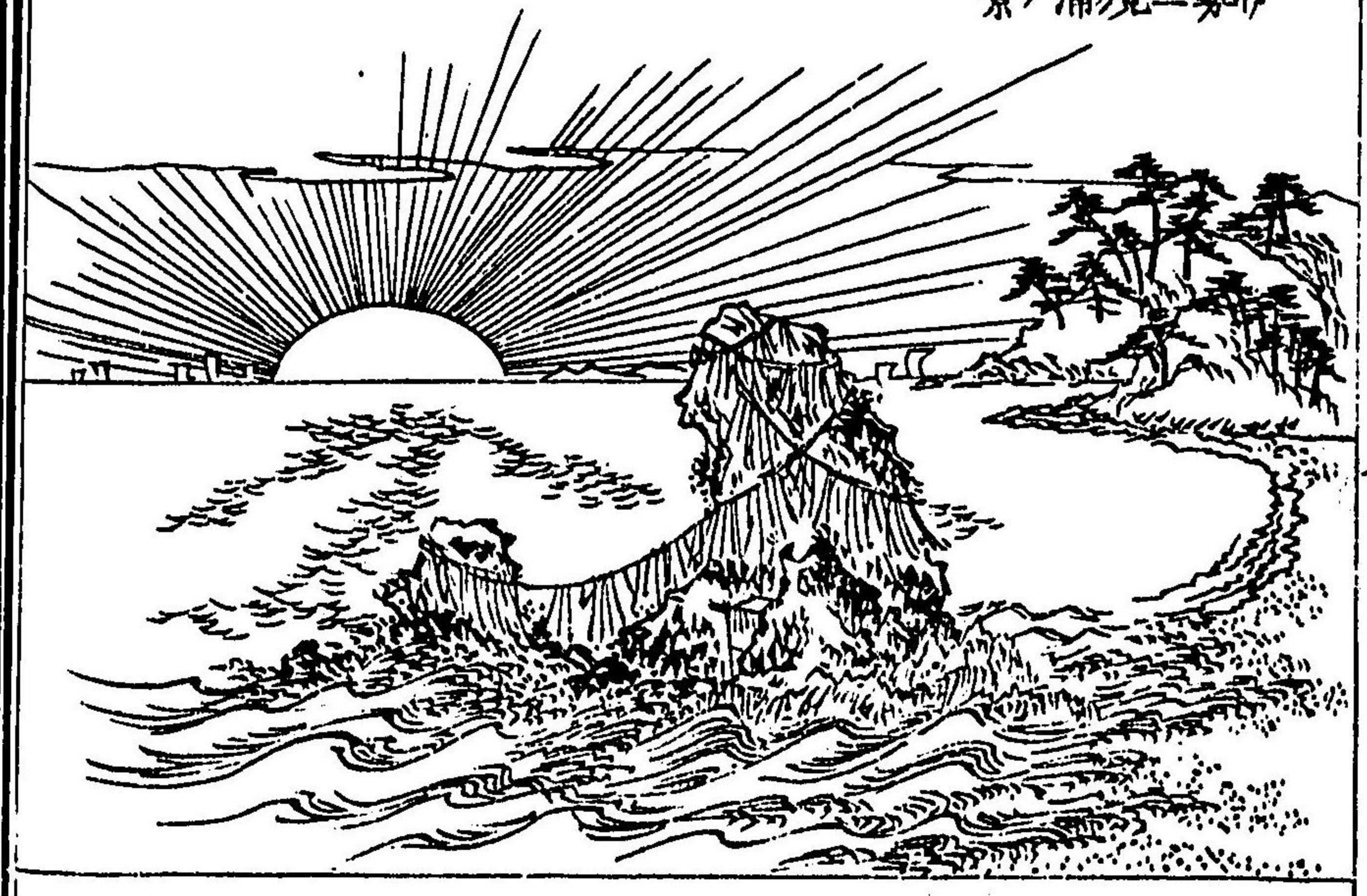


兵庫港之圖



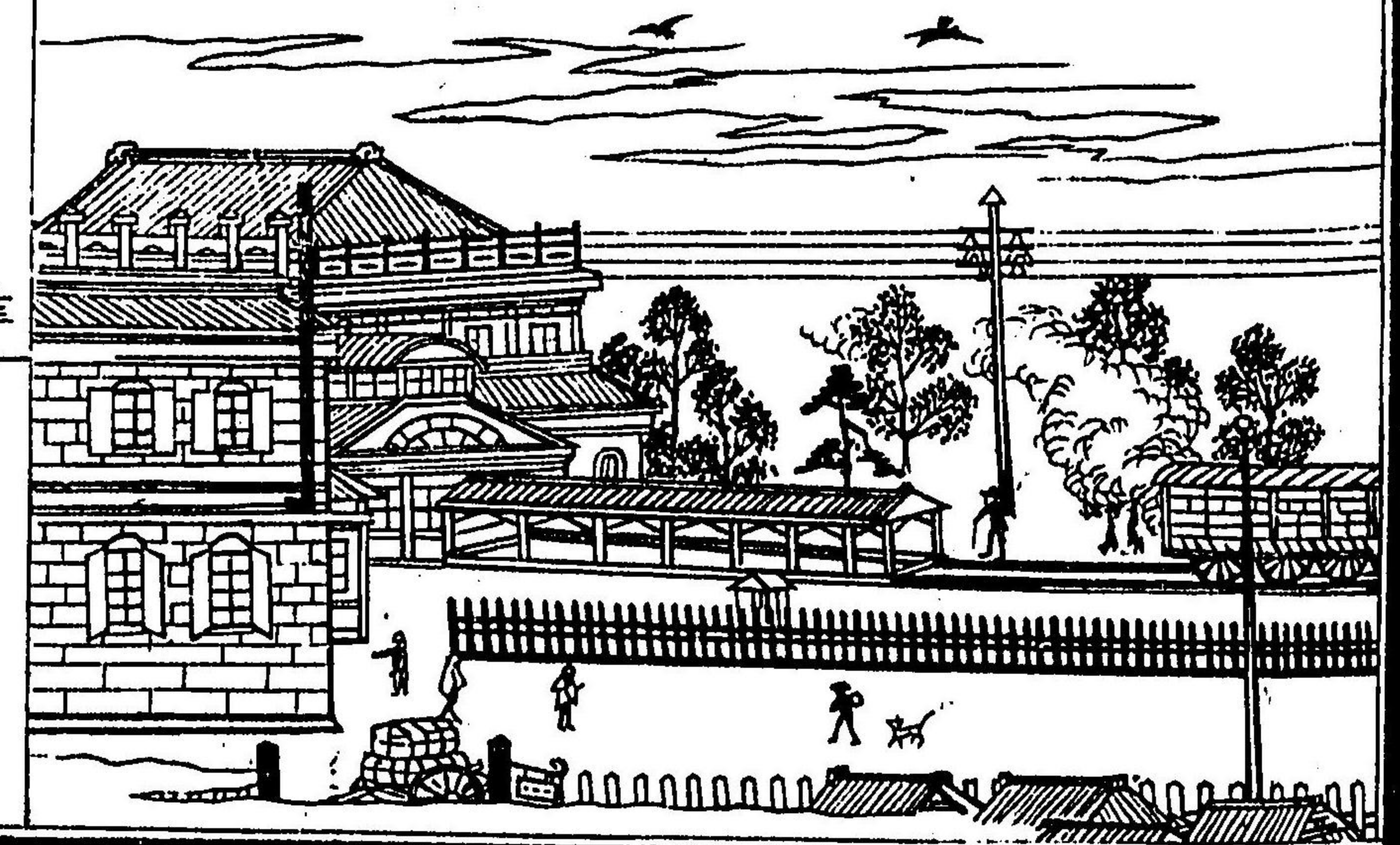
難シ東京ヨリ奥州青
森ニ至ル一百餘驛ア
リ奥州路一云水戸ニ
至ル水戸街道アリ甲
府ニ至ルニ甲州路ア
リ東海道ヨリ伊勢
神宮ニ至ルニ伊勢路
アリ京拱ヨリ長崎ニ
至ル九十餘駅内海ニ

伊勢ニ見ク浦ノ景



沿フテユク之ヲ山陽
道ト云是等駅路ノ著
名ナル者ナリ
第十五 鐵道
横濱鐵道ハ野毛浦ヨ
リ東海岸ニ沿フテ神
奈川鶴見河崎ヲ歷テ
六郷川ヲ渡リ品川ヨ
リ東京新橋ニ達セリ

東京新橋ノ景



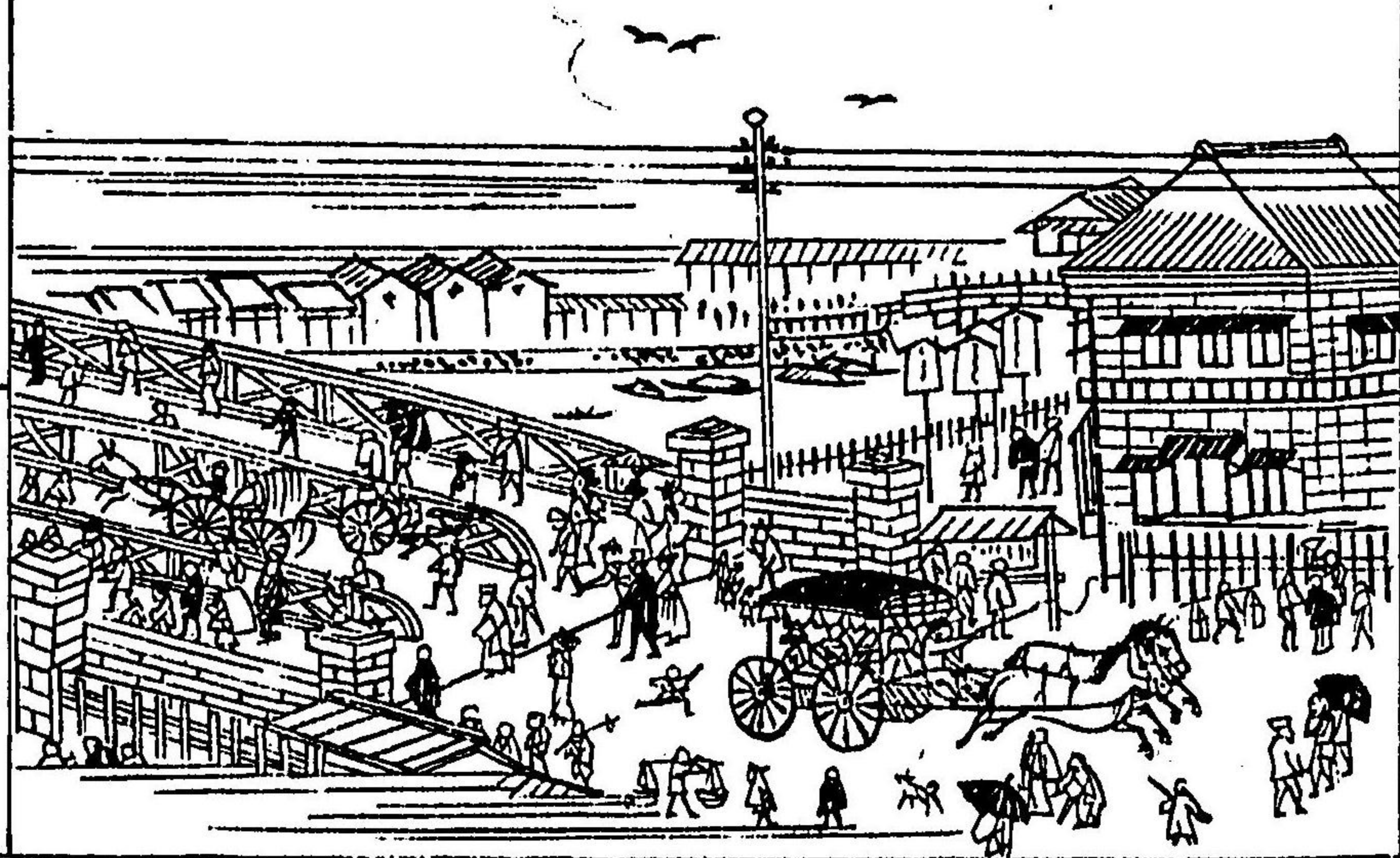
線路七里十二町三十間アリ神戸鉄道ハ神戸ヨ
リ西ノ宮尼ヶ崎ヲヘテ大坂ニ達ス線路九里四
丁三十二間アリ皆明治三年ヨリ造営セシ者ナ
リ

第十六 電信

電線ノ最長キ者ハ東京ヨリ東海道ヲスギ大坂
ヨリ長門ニ至リ下関海底ヲワタリ西長崎ニ達
セリ其長サ四百五十里長崎ヨリ高麗海ノ底ヲ
通シ支那印度ヨリ直チニ歐米ノ電線ニ傳ヘリ

横濱ヨリ東京ニ至ル
一線アリ長サ七里半
強ナリ東京ヨリ下野
岩代陸前陸中陸奥ノ
地ヲ經テ青森ヨリ津
輕海峽ヲコヘ北海道
札幌ニ至ル者ハ長九
アリ是等
電信ノ大ナル者ナリ

電信機架線ノ圖



人民

第一 人種

本邦ノ人種ハ身ノ長ケ甚ク高カラスシテ皮膚
 黄色ヲ帯ヒ低鼻厚唇ニシテ其眉目未揚リ頭髮
 粗ニシテ色滲黒ナリ所謂蒙古人種ナル者ナリ
 間白皙高加索種ニ類
 セシ者アリ東北ニ一
 種ノ民アリ蝦夷或ハ
 アイノト云深毛短身



日本人



蝦夷人

ニシテ言語風俗ミナ本島ノ人民ト同シカラズ
 又古来支那朝鮮ヨリノ飯化セシ者多ク五方ノ
 民雜處繁殖シテ遂ニ諸島ニ遍シ

第二

民情

本邦ノ人ハ性質
 銳敏ニシテ能ク
 勞苦ニタヘ氣象
 活深ニシテ勇武
 フ貴ビ怯懦ヲ賤



日本人出陣之圖

シミ文學ニ篤フシテ新奇ヲ好ム唯心計粗豪ニ
シテ思ヒヲ運スニ拙ナシ然レニ開闢ヨリ以來
今日ニ至ルマテ其間凡ソ三千年長ク東海ニ獨
立シテ時ニ盛衰アリトイヘニ未タ他國ノ羈絆
ヲ受ケシコトナシ是レ地球萬國ニ類ナク民情
ノ他國ニマサル、所ナリ

第三 風俗

國民男女大領マエリ潤袖ヒソソデノ衣ヲ被テ頭ニ帽ヲ戴カズ
足ニ靴ヲツケズ木履或ハ繰履ヲハケリ異ナル

所ハ男子

頂ヲ剃リ

女子眉ヲ

剃リ齒ヲ



深メリ宮室ノ制ハ大ヒニ支那ニ似タリ造管專
ラ竹水ヲ用ユ故ニ都會ノ地ハ火災相尋グ祠刹
ニ至テハ結構壯宏觀ルニ足レリ國人ノ飲食ハ
大抵米魚菜菓ヲ用ユ獸肉牛酪ニ至テハ未ダ甚
ダ食ヲ好マズ是レソノ大略ナリ近年ハ西洋各

國ト往來シ風俗漸ク改マリ旧習次第ニ變革セリ

第四 民族

國民ノ階級ハ華族

士族卒族神官僧侶平民等ニ分テリ上古ハ神職ヲ以テ最モ貴キ者トス中古佛法盛ニ行ハレ僧侶推ヲトリ後華族之ニ代ハリ七百年前ニ至リ武門興リテ政ヲ專ラニシ他族皆衰ハ士卒ニ族



華族



士族



農



商

工



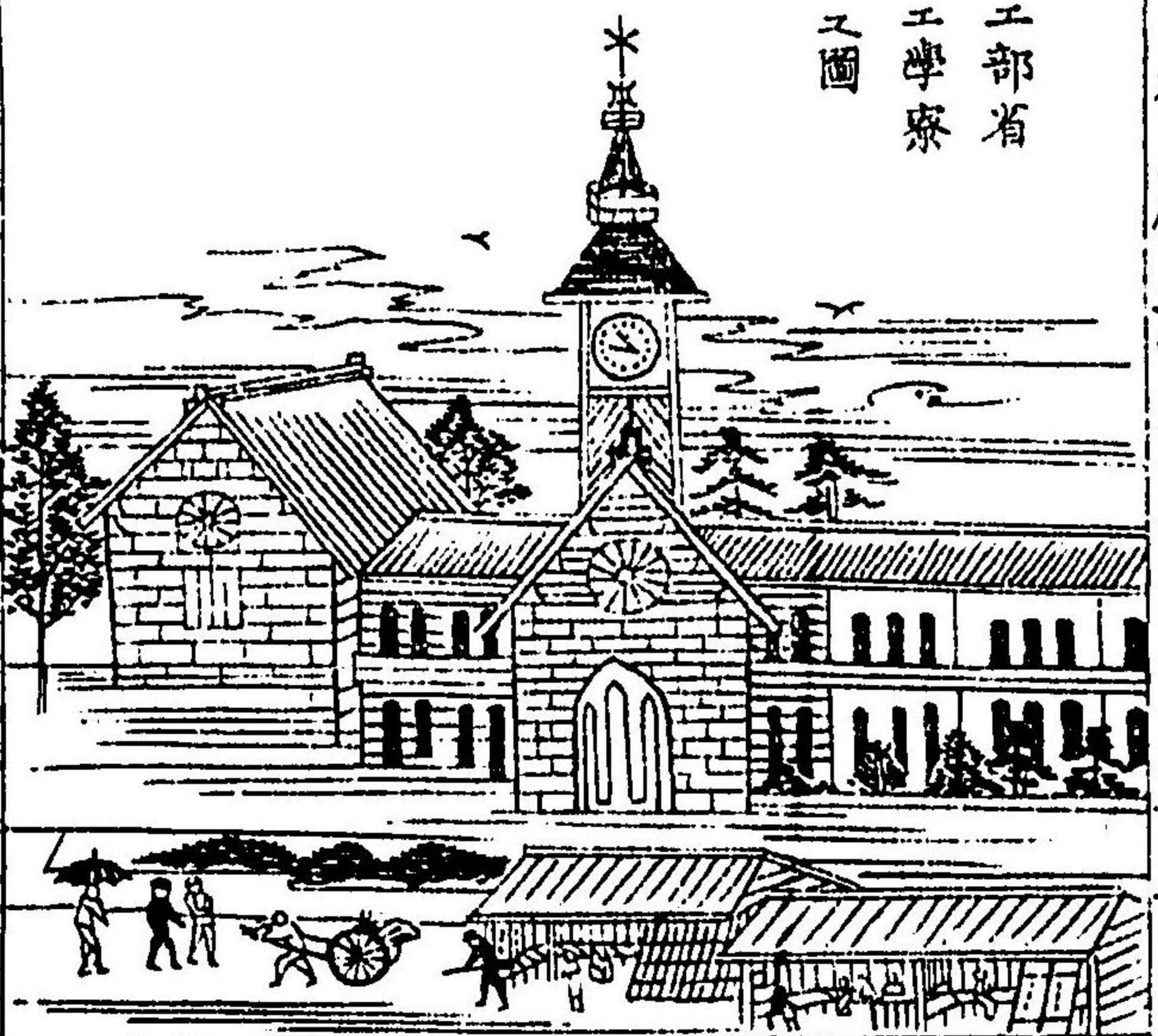
獨り威ナリ然ルニ近年ニ至テ八大ヒニ武門ノ
權ヲ削リ國政古ノ如ク 皇室ニ歸シ藩主ハ列
シテ萃族ニ入り士卒ハ散ジテ旧時ノ農ニ復ス
ル者アリ

政事

第一 官制

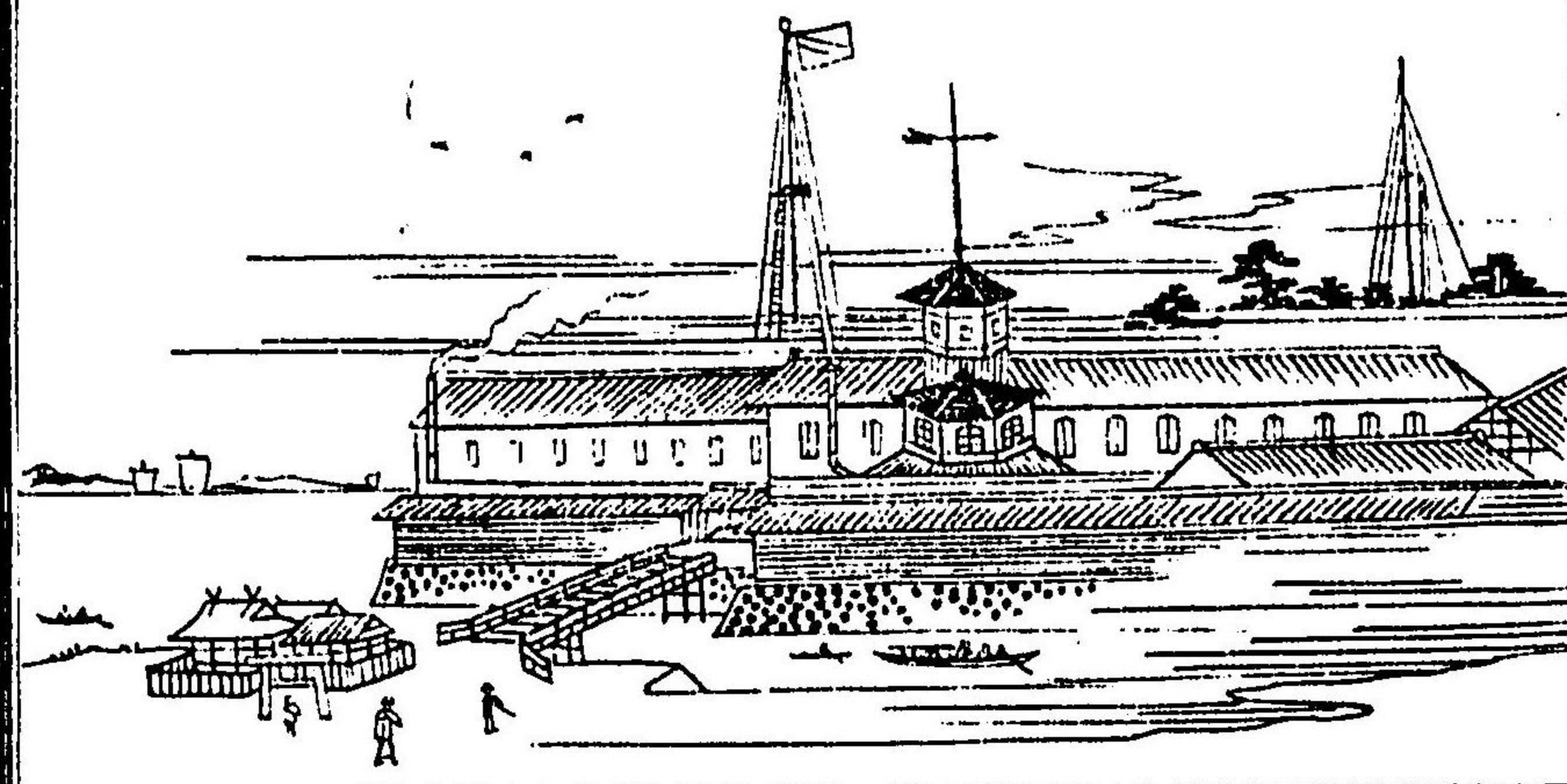
太政官分ツテ三院トス一ヲ正院ト云ニヲ左院
ト云三ヲ右院ト云之ニ次デハ十省一使三府六
十餘縣トナス其十省ハ一ヲ外務省ト云外國ノ

務ヲ司トルニヲ内務省ト云フ内國ノ事ヲ管ス
六寮アリ勸業警保、戶籍、驛遞、土木、地理ト云又警
視廳測量司アリ三ヲ大藏省ト云會計ノ務ヲ掌



ドルハ寮アリ造幣、租稅、紙
幣、出納、統計、檢査、國債、記録
ト云四ヲ陸軍省ト云二寮
アリ兵學、軍醫ト云二司
アリ造兵、武庫ト云又裁判所
アリ五ヲ海軍省ト云三局

菜地海軍省ノ景



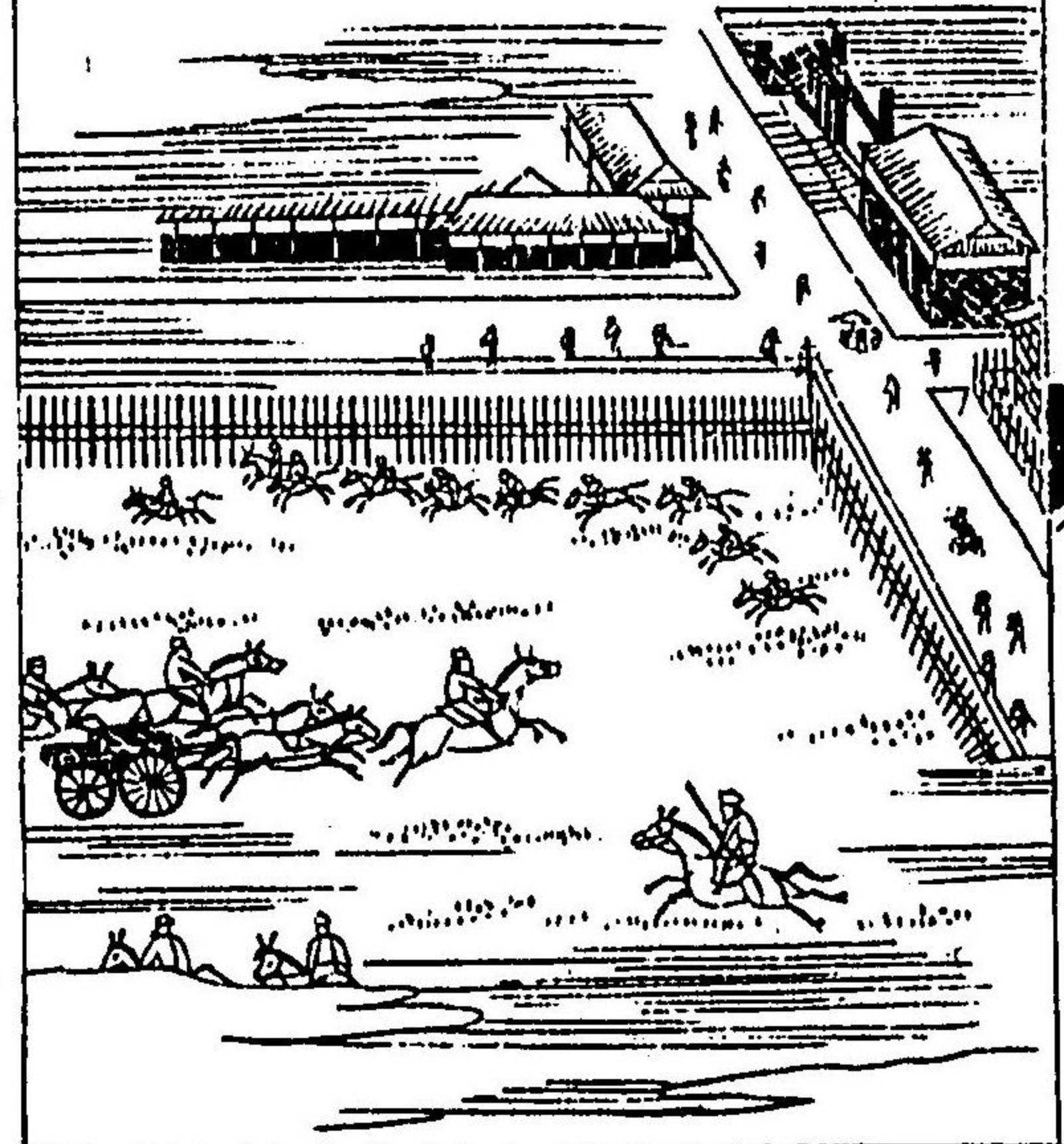
ハ秘書軍務會計ナリ四寮ハ
 主船、水路、兵學、軍醫ナリ三司
 ハ機関、造兵、武庫ナリ又水兵
 本部、提督府、裁判所アリ六ヲ
 文部省ト云文學ノ事ヲ管ス
 七ヲ教部省ト云教法ノ事務
 ヲ司ドルハヲ工部省ト云管
 繕ヲ掌ドル七寮アリ工學、勸
 工、鑛山、鉄道、燈臺、電信、製作ト

云九ヲ司法省ト云獄訟ヲ管ス明法寮、諸裁判所
 アリ十ヲ宮内省ト云宮中ノ務ヲ管ス開拓使ハ
 北海ノ事ヲ司ドリ三府六十餘縣ハ地方ノ事務
 ヲ管轄スルナリ

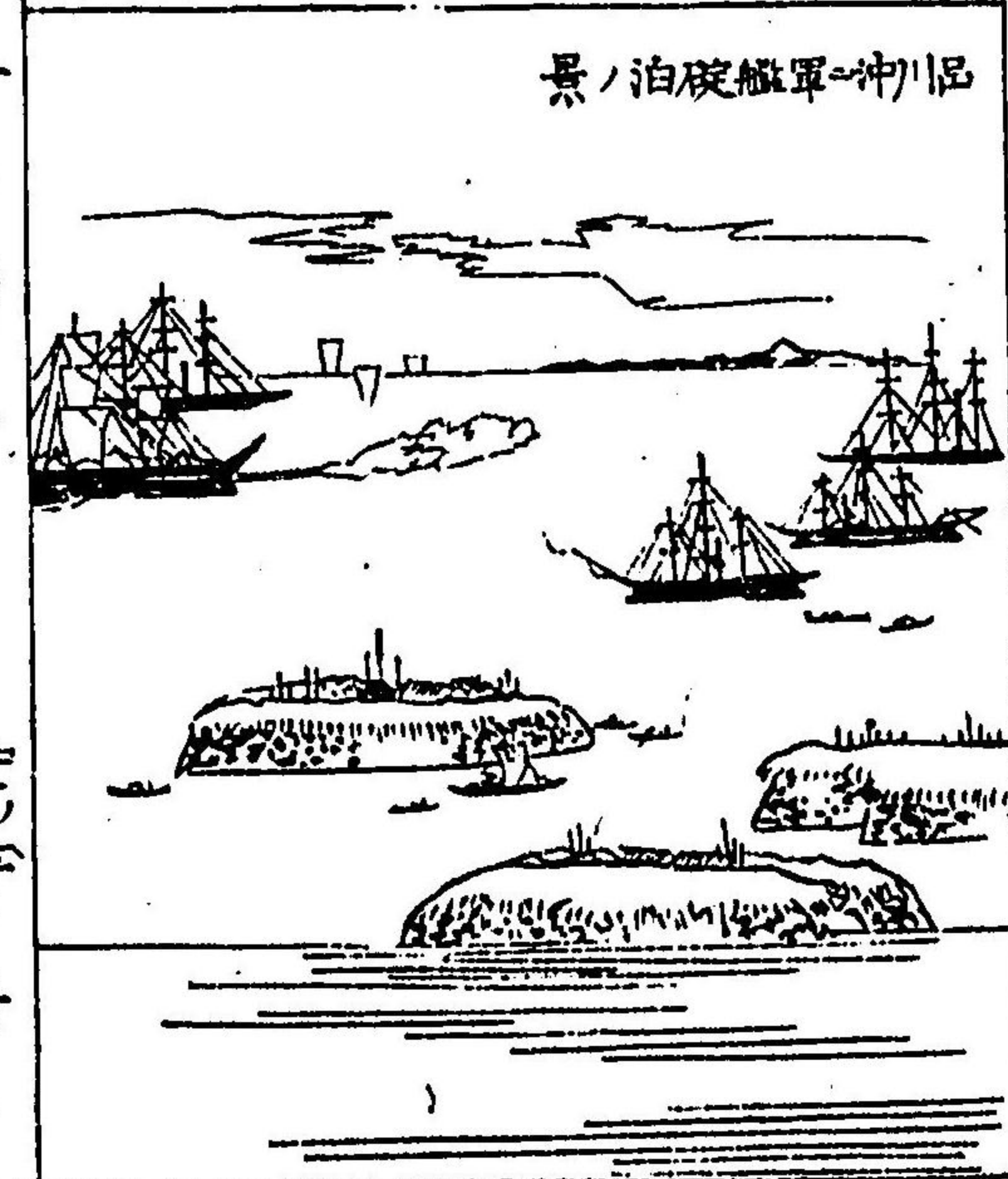
第二 軍備

陸軍分ツテ六種トナス歩、騎、工、砲、并ニ海岸砲兵、
 輜重兵是ナリ軍備ハ分ツテ三軍トナス一ヲ常
 備軍ト云ニヲ後備軍ト云三ヲ國民軍ト云額兵
 凡ソ三万一千六百八十人戦時ハナホ一万四千

東京陸軍練馬場ノ圖



品川沖一軍艦泊景



六百七十人ヲ出スヘシ外ニ禁軍アリ近衛兵ト云國內六鎮東京、仙臺、名古屋、大坂、廣嶋ハ本島ニアリ熊本城ハ九州ニ在リ分營十四六鎮ノ地才ヨビ佐倉、新潟、青森、金澤、大津、姫路、丸龜、小倉ナリ

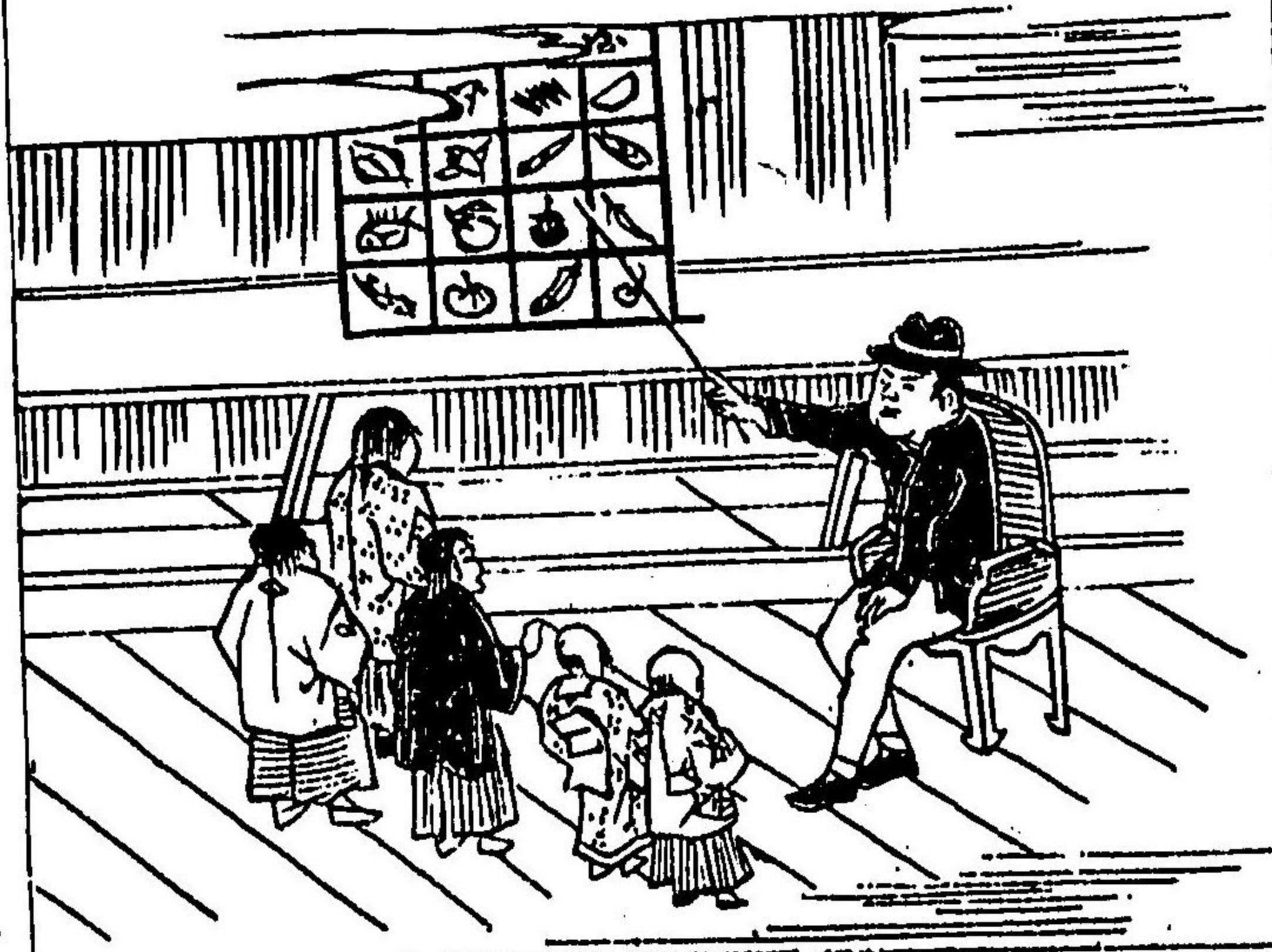
海軍ハ近年ニ至リ殆メテ開ケリ故ニ未ダ甚ダ盛ナラズ明治六年ハ兵艦十八艘水師凡ソ一千八百人アリ國內ノ商船一百世餘艘横須賀、相模、島、越前、賀、相、長崎、肥前等ニ於テ洋製ノ船艦ヲ製造ス

第三 文學

國內分テ七大學區トス東京、愛智、大阪、廣嶋、長崎、新潟、青森、皆大學ノ本部トス許多ノ中學ヲ管セリ中學ハ小學ヲ管ス其數漸ク盛ナリ明治七年

ニ至リテハ國內諸校ノ生徒凡ソ四十八万ニ及ベリ讀ム所ノ文字四種アリ一ヲ神文ト云本邦ノ古文ニテマレニ之ヲ用ユニヲ漢字ト云支那ヨリ傳フル所ニテ讀音ハ支那ト同ジカラズニヲ序假名字ト云吉備真備ガ漢字ニ由テ作レル者其數

圖ノ業授師教テニ校學小



五十アリ四ヲ伊呂波字ト云僧空海護命ガ作ル所ニシテ支那ノ草字ヨリ出デ神字ニ擬セシ者ナリ此二種ハ用法頗ル便ナリ中古ハ支那朝鮮ノ二國屢相往來シテ諸學ヲ傳ヘリ近年ニ至テハ歐米各邦ト通シ百科ノ學漸ク興リ文明日ニ歩ヲ進メ國內ノ學風一變シテ制度風俗モ亦ソノ面目ヲ革ムルニ至レリ

第四 教門

國人崇奉スル所三教アリ一ヲ神道ト云本邦固

有ノ教ニテ上古ノ諸神ヲ拜スニテ儒道ト云
應神天皇ノトキ百濟ノ王仁来リテ之傳フ士人
多ク之ヲ奉ズ三ヲ仙道ト云十餘派アリ皆印度
ノ支流ナリ 欽明天皇ノ時百濟王明トイヘル
者之ヲ我邦ニツタヘリ今ヨリ凡ソ三百年前天
主教一タヒ傳ハリシガ後之ヲ禁ゼリ

第五 交際

本邦古ハ獨リ支那朝鮮ト相往來セリ天文十一
年ニ至リ始メテ西洋葡萄牙國ト通セリ又英國

一互市ヲ約セシガ後洋教ノ亂ニヨリ荷蘭支那
朝鮮三國ハ外通商ヲ絶チテ相往來セズシテ肥
前長崎ヲ以テ埔頭トシ他ハ一切鎖港セリ時ニ
蘭船ノ来ル歲僅ニ二艘貿易未ダ盛ナラズ後延
宝元年ニ至リ英國再ビ来テ互市ヲ乞ヘ臣之ヲ
許サス以來益蘭清ノ商船ヲ減シタリ然ルニ安
政五年米人伯理来リテ通商ヲ乞フニ及ンデ之
ヲ許セリ是ヨリ諸洲ノ各國陸續トノ来リ約ヲ
立テ盟ヲ結ビ其數十七國ニ及ベリ歐羅巴ハ則

日本西洋支那人
合座ノ圖



橫濱貿易ノ圖



英^{イギリス}仙^{スペイン}魯^{ロシア}蘭^{オランダ}連^{デンマーク}字^{ドイツ}奧^{オーストリア}伊^{イタリア}葡^{ポルトガル}西^{スイス}瑞^{スウェーデン}士^{スイス}瑞^{デンマーク}典^{ドイツ}比^{ベルギー}利^{リヒテンシュタイン}時^{スウェーデン}亞^{オーストリア}墨^{イタリア}利^{リヒテンシュタイン}
加^{カナダ}ハ則^ス聯^{アメリカ}邦^{フランス}秘^{ブラジル}魯^{ロシア}亞^{アフリカ}細^{アジア}亞^{オーストラリア}ハ則^ス清^{中国}國^南南^洋洋^ハ則^ス哈^{ロシア}維^{アフリカ}

島山ニ楫シ海ニ航シ有無相通シテ互市ノ利四海ヲ濟ヒ文明ノ化五洲ニ及ベリ

第六 沿革

我邦ハ開國ヨリ以来今ニ至ルマデ 皇統^{ミカドトナス}連綿トシテ絶ヘズ國体尊嚴ニノ万世變易セストイヘトモ時ニ古今アリ世ニ盛衰アリ是レ國勢ノ沿革アル所ナリ今ソノ梗概ヲ左ニ論ゼン
我邦ノ國勢凡ソ四たび變ゼリ昔シ 神武天皇
中州ヲ平定スルニ及ンテ諸國ノ土豪邑傑ヲ滅

神武天皇即位圖



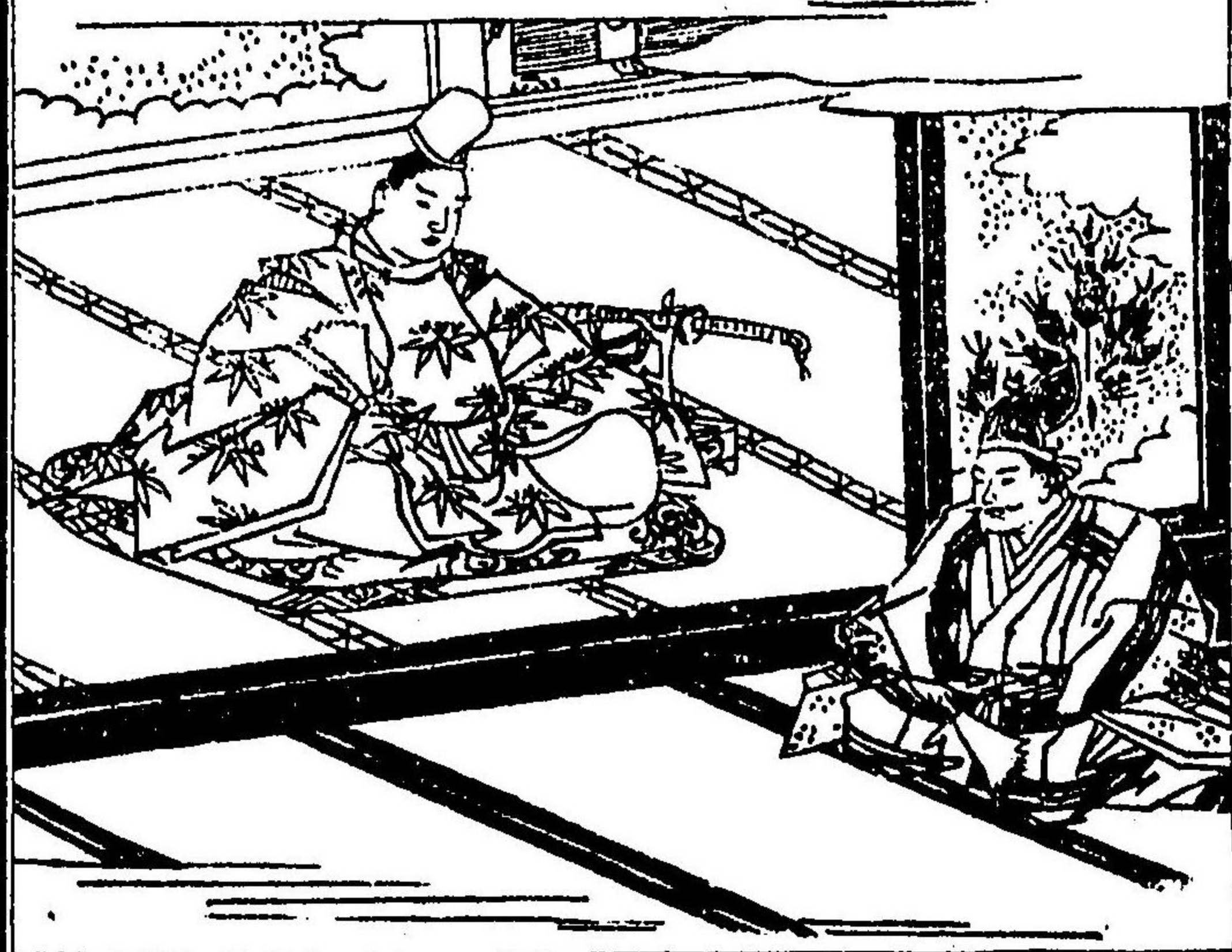
ボシ國造ノ官ヲ置テ地
方ノ政ヲ司トラシメリ
其勢ナホ方今ノ郡縣ノ
如シ其後久フノ臣連伴
造ノ官次第ニ土地人民
ヲ私ノ殆ンド封建ノ勢
ヲナセシガ 孝徳天

皇諸國ニ國司郡領ヲ置キ悉ク封建ヲ廢セリ是
レ第一ノ變革ナリ

郡縣ノ制已ニ定マリ大宝以後制度大ニ備ハリ
律令ヲ撰シ政ヲナセリ然レトモ貴臣蘇我氏政
ヲ操ニシ 朝綱大ニ亂ル 天智天皇藤原鎌足
ト相謀リ蘇我氏ヲ滅ボシ 王室中興セリ然ル
ニ後藤原氏又蘇我氏ニ代リ政ヲ傳ニシ撰政關
白ノ職興リ藤原氏累世之ヲ承ク政權ヲ掌握セ
リ甚ンキニ至テハ 國帝ノ廢立ヲナスニ至レ
リ是第二ノ變革ナリ貴族久シク權威ヲ專ラニ
シテ僭奢ヲキハメシガ保元平治ノ間ニ及ビテ

武臣出テ、政ヲトリ後源賴朝ニ至リ幕府ヲ相
摸鎌倉ニ開キテ國中兵馬ノ全推ヲ掌握シテ政

賴朝朝像



權悉ク之ニ歸セリ數
傳シテ滅ヒ其臣北條
時政源氏ノ遺業ヲツ
ギ倍臣ニシテ國命ヲ
執リ京師ヨリ藤原氏
或ハ親王ヲ迎ヘテ鎌
倉ノ主トナセ凡大推

實ハソノ手ニアリテ子孫九世一百五十餘年、
皇室ヲ輕シメ暴逆ヲ極メ其罪大ヒナリ然レト
モ蒙古ノ西土ヲ混一シ來リ迫ルニ及ビ時宗斷
然トシテ國威ヲ屈セズ十萬
ノ胡軍ヲ一撃ノモトニ鏖殺
シテツイニ忽必烈汗ノ貪圖
ヲ破リ大日本ノ獨立ヲ保護
ヒリ其功以テ祖先ノ罪ヲ贖
フニ足ルベシ 後醍醐天皇

北條時宗蒙古追擊圖



北條氏ヲ亡ボシ 王室中興セリトイヘトモ末
 年將臣相争ヒ足利尊氏 帝族ヲ擁シテ政ヲナ
 ス 天皇平安ノ旧都ヲ去テ大和吉野ニ移レリ
 是ヨリ南北並立シテ干戈ノ亂ヤムトキナク五
 十余年ニシテ遂ニ北
 朝ニ合シ足利ノ霸權
 彌盛ニテ子孫相ウケ
 十三世二百三十餘年
 ニ及ベリ然レトモ其



秀吉像



末年ニ至テハ群雄四方ニ割拠
 シテ國土四分五裂戰亂絶ヘズ
 号シテ戰國ト云ヘリ後織田信
 長羨濃ニ興リ漸ク諸國ヲ平ラ
 ゲシガ其臣明智光秀ノ為ニ弒

セラレタリ豊臣秀吉明智氏ヲ滅ボシ尋テ四方
 ヲ征討シ東ハ北條上杉ヲ従ヘ西ハ毛利島津ヲ
 降シ遂ニ全國ヲ蕩平シ又朝鮮ヲ征討シテ武威
 ヲ海外ニ輝ヤカセリ薨スルニ及ンデ嗣子秀頼

年幼ナシ徳川家康之ヲ滅ボシ代リテ其権ヲ執
リ子孫相承クルコト十五世二百五十餘年頼朝
ヨリ是ニ至ルマテ凡ソ七百年ノ間均シク武門

家康像



政ヲナセリ是ノ時ニ
當テハ 天皇ハ徒ニ
虚名ヲ擁シテソノ衰
微極マレリ是レ第三
ノ變革ナリ
徳川氏ノ末ニ及ンテ

政綱大ヒニ亂レ内
憂外患並ビニ起リ
國民塗炭 王室中
興シテ政令一新大
権一統シテ郡縣古
ニ復シ北ハ蝦夷捧
太ヲ闢キ南琉球ヲ
藩トシ又兵ヲ出シ
テ臺灣ヲ討伐シ國



臺灣
社
酋長
日本ノ軍ニ
降ル

威轟然トシテ宇内ニ振フ是レ第四ノ變革ナリ
附録

棒太 琉球 無人島

棒太島ハ北海道ノ北ニアリ其地北緯四十六度
ヨリ起リ五十三度廿分ニ至ル南北二百七十三
里東西四十五里西北尼哥拉斯^{ニコラス}峽ヲ隔テ魯^ロ屬^シ滿
洲ト相對ス嶋内峯^{カサカリ}峯^{カサカリ}疊^{カサカリ}重^{カサカリ}澤^{カサカリ}波^{カサカリ}浸^{カサカリ}淫^{カサカリ}メ氣候^{カサカリ}恒^{カサカリ}寒^{カサカリ}
人民^{カサカリ}稀少^{カサカリ}聚^{カサカリ}落^{カサカリ}九^{カサカリ}ノ^{カサカリ}十^{カサカリ}餘^{カサカリ}部^{カサカリ}アリ内外相雜居セリ
開拓使支廳^{カサカリ}捕^{カサカリ}子^{カサカリ}谷^{カサカリ}ニ在リ

琉球群島ハ薩摩ノ南ニ在リ北緯二十四度十分
ヨリ起リ廿八度廿分ニ至ル西經九度四十五分
ヨリ起リ十六度五十分ニ至ル嶋嶼稍大ナル者
十五坐アリ中島ヲ沖繩島ト云長サ世里廣サ二
三里或ハ五六里分ツテ三省トス一曰國頭又山
北ト名ク九間切ヲ稱ト切云ハ我邦ニテ管ス二曰中
頭又中山ト名ク十六間切ヲ管ス玉城アリ首里
ト云三曰島尻山南ト名ク十一間切ヲ管ス全島
地勢坦夷氣候温暖草木繁茂シテ禾穀^{コメ}登^トス小

琉球ノ地方ハ臺灣ヲ距ル僅ニ三十里屢支那ト
往來シ貨物ヲ轉鬻ス土民言語風俗本邦ト大ニ
相似タリ出ス所ハ米穀蕃薯砂糖泡盛酒塗豚細
上布蕉布朱漆器等アリ

小笠原島一ニ無人島ト名ク大洋洲ノ北部ニ在
リ天和三年小笠原某ノ檢出スル所ナリ島大ナ
ル者二坐アリ南島ト云北島ト云其他小島八十
有餘皆山島ナリ氣候暖熟金鑛ヲ藏セリ

日本雜誌終

